



喜界中だより

校訓 志 創 錬

9月号①

(住所)

〒891-6202 喜界町湾1775番地 TEL 65-0026 FAX 65-0058

限界一新で未来は変わる

校長 藤原 隆哉

学校に生徒の明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。この夏休み期間中に、部活動の生徒は県総体、県吹奏楽コンクールに出場しました。天候の影響で、出発が早まったり、予定が急に変更になるなど、コンディションを維持するのに苦慮した面もあったかと思いますが、それぞれの舞台で生徒は活躍し、心身共にたくましく成長してくれました。また、8月9・10日に開催された喜界町夏祭りでは、初日のオープニングを喜界中学校吹奏楽部が喜界高校の先輩達と一緒に演奏して盛り上げてくれました。2日目には有志で結成されたフネインカー競漕に出場したり、地域のオーケストラやフラダンス等に出演したりする生徒の姿も見ることができました。地域の一員として活躍する姿を見て、とても頼もしく感じました。



さて、この夏は、国内外で沢山のスポーツイベントが開催されました。中でもシンガポールで開催された世界水泳選手権には教頭先生の息子(西小野皓大選手)さんが200m背泳ぎに出場されていたこともあり、テレビで声援を送りました。ある選手がレース後にこんな言葉を言っていました。「自分は日本代表として精一杯の泳ぎをしました。でも、世界のトップ選手はその先を行っていました。自分の考えを変えないといけない。」と、電光掲示板を悔しそうに見つめる表情がとても印象的でした。その姿にメインキャスターの松岡修造さんが贈った言葉が「**限界一新**」でした。この言葉を聞いて私自身“ハッ”とさせられました。「勉強やスポーツでも、自分の実力は大体これ位だろう」「日常生活では、自分の性格は〇〇だから△△するのは無理」「将来、□□の仕事をしたいけど、資格を取るのが難しそうだから諦めた」とか、私たちは挑戦する前から自分で限界線を引いてしまっていることが多いことに、あらためて気付かされたからです。

今日から始まる2学期は、数々の教育活動が計画されています。9月体育大会、10月生徒会役員改選、学習発表会、11月集団宿泊学習(1年)、12月ロードレース大会です。学校行事は単に楽しいイベントとして実施するわけではありません。仲間意識を深めたり、時間意識や計画性、リーダーシップや責任感、協調性を養ったりするなどの目的があります。もちろん個人としての目標もあるはずです。そこで大切なことは、前述した“限界一新”です。去年と同じ位を目標にしようという考え方を改めて、“自分ならできると前向きに挑戦”してみてください。先生方もしっかりとサポートしていきます。生徒の皆さんが様々な活動を通して、実りの多い2学期になるよう期待しています。

最後に、ご家庭や地域の皆様におかれましても、2学期の喜界中学校の教育活動に対する変わらないご支援とご協力をお願いします。

P T A 奉仕作業ありがとうございました！

8月24日(日)にP T A 奉仕作業を実施しました。除草作業を中心に、本校の広い敷地内を学年別に分担していただき、限られた時間の中で、効率よく作業に取り組んでいただきました。お陰様で、美しく整備された環境で2学期を迎えることができました。また、早朝より準備をしていただいたP T A 環境部の皆様をはじめ、ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



1 学期学校評価アンケート報告

1 学期末に実施した「学校評価アンケート」への御協力、本当に有難うございました。

N o	評 価 の 観 点	平 均
1	学校は、保護者に対して教育方針や学校・学級の様子を分かりやすく伝えている。	3. 3
2	子どもは、「学校は楽しく、授業は分かりやすい」と言っている。	3. 1
3	学校の職員は、気軽に話ができて、親しみやすい。	3. 2
4	子どもは、家庭での学習（宅習）に計画的に取り組んでいる。	2. 8
5	子どもに、基礎的な学力が身に付いてきている。	2. 9
6	子どもが家庭で読書するとき、家族も協力することがある。	2. 1
7	子どもと、喜界島の特色（自然・歴史・伝統・文化等）について一緒に話すことがある。	2. 8
8	毎朝、子どもからのあいさつ「行ってきます」や、保護者からの「行ってらっしゃい」などの声かけを行っている。	3. 7
9	学校は、生徒一人ひとりを大切に、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。	3. 2
10	子どもは、家庭や地域で思いやりのある言葉遣いや行動ができている。	3. 0
11	（子どもが部活動に参加している方へ）子どもは、進んで部活動に参加している。（または、していた）	3. 6
12	（子どもが部活動に参加している方へ）子どもは、部活動休養日を計画的に過ごしている。	3. 0
13	子どもは、家庭で自分の役割を意識し進んで手伝いを行っている。	2. 7
14	子どもは、ふるさと美化活動など地域行事に進んで参加している。	2. 5
15	子どもと、学校のできごとや、将来の夢について話し合う時間を持っている。	3. 3

【考 察】

学校評価は4段階で評価していただきました。数値が4に近いほど、保護者の皆さんの評価も高いことになります。質問の中で、数値の高い項目は昨年に引き続き8, 11でした。「登校の際のあいさつ・声かけ」は、体調の確認や交通安全意識の高揚につながり、事故防止の観点からも大切です。また「部活動への参加」については、本校では、顧問の先生方に加えて、昨年より地域の方に部活動指導員として協力していただいています。技術面での専門的なアドバイスは、技術力の向上と共に、部員のやる気につながっているのではないかと考えています。次に評価の最も低い項目は、6の「家庭で読書するとき家族が協力する」でした。本校でも今後、学校図書室の積極的な活用して読書啓発を図りたいと考えています。ご家庭でも「親子で本を読む」「共通の図書を話題にする」など、ご協力ください。

最後に、メールにて幾つかのご意見をいただきました。2学期以降の学校経営に生かしていきます。今後とも本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

アスリート講座（講話・実技指導）

8月21日（木）出校日にアスリート講座を実施しました。今回の講師は、手平裕士・成美ご夫妻でした。お二人は共に走り幅跳日本一の経歴をもつトップアスリートです。はじめに体育館内で跳躍の実技を披露してもらい、次に「陸上競技を通して学んだこと」という演題で講話をしてもらいました。これまでの輝かしい成績から順風満帆な競技生活をイメージしていた生徒も多かったようでしたが、実際には記録が伸び悩んだ時期もあり、苦しみながらも目標を失わずに努力を継続されてきたことを教えて頂きました。最後は、自宅で出来るストレッチやトレーニングについて解説を交えながら指導して頂きました。夏休みで体がなまりがちだった生徒も、笑顔で汗を流しながら楽しく運動することができました。



受賞報告

- ◇県中学校総合体育大会陸上競技
 - 男子1年1500m 6位 浜崎 結仁
 - 男子共通砲丸投 7位 登 幸平
 - 男子共通三段跳 8位 中督 紋之城
- ◇県中学校吹奏楽コンクール
 - B部門 銀賞
- ◇県メモリアルバドミントン大会
 - B級3位 橋川すみれ・木元夢七

